

令和6年度学校自己評価システムシート（県立皆野高等学校）

目指す学校像	校訓（誠実・勤勉・協力・奉仕）の理念の下、地域の活性化に寄与し、地域社会と産業を支える人材を育成する学校
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びを推進し、確かな学力を育成する。 地域の人材と資源を活用し、地域と連携した特色ある学びを推進する。 思いやりの気持ちの醸成やあいさつの励行を通し、健全な心身を育成する。 生徒の特性に応じた進路指導を推進し、地域で活躍する人材を輩出する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標			年 度 評 価 (月 日 現 在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>【現状】生徒一人ひとりに寄り添った指導を実施している。また、商業高校としての強みを生かし、体験的な学びや商品開発、資格取得を奨励し、地域など外部との連携を進めている。</p> <p>【課題】社会での活躍を見据え、生徒には社会生活の基本を備えることが必須である。そのために、〇一人ひとりの基礎学力の定着を図るきめ細やかな学習指導〇職員相互の授業研究や授業振り返り会など校内研修の継続〇多様な検定試験挑戦の奨励と成功体験の機会の確保〇地域等外部との更なる連携〇ICT機器の積極的な活用を行う。</p>	少人数学級を活かした授業はもとより、学習の動機付けを含めた授業の実施により基礎学力の定着と学力の向上を図ることができたか。	<ol style="list-style-type: none"> 授業研究週間で授業見学と事前事後の研究協議を実施(1・2学期) 各種検定試験に向け意欲及び学力を向上させる指導(通年) 多面的評価方法の工夫改善(通年) 生徒による授業に係る自己評価の結果を活用した授業改善(通年) アクティブラーニングや、ICT機器を活用した授業の実施(通年) 生徒の自立を促す高校通級の実施(通年) 	<ol style="list-style-type: none"> 授業研究週間で、相互の授業見学研究協議で意見交換ができたか。 検定試験指導を計画的に実施し、合格者を輩出したか。 各教科で多面的・総合的に評価したか。 生徒アンケートを実施し、評価結果を分析し改善に努めたか。 AL型授業実施、ICT機器活用等により生徒が自主的に学習に取り組むことができたか。 教育支援プランに沿って計画的に指導できたか。 			
2	<p>【現状】生徒が本校で学ぶ価値や魅力を感じる教育活動を推進している。また、地域と連携をした行事等の取組を実施している。</p> <p>【課題】学年減少による人員の減少により、外部人材の力を活かした学校運営、行事等の実践を推進する必要がある。〇包括連携協定に基づき、町役場、商工会と引き続き情報共有を図り連携協力する。〇小中学校と連携した取組により、生徒の活躍の場を設ける。〇秩父圏域4高校の行事内容を工夫し、参加者数の増加を図る。〇秩父定住自立圏事業の活動継続。</p>	地域の人材と資源を活用した、商業高校ならではの唯一無二の教育活動の実施と発信を行うことができたか。	<ol style="list-style-type: none"> 地域と連携した商品開発による取組の継続、地域人材を活用した講演会等の実施(通年) 学校運営協議会の実施(4回)と協議会での意見提言の活用(通年) 皆野町・秩父地域、幼小中高大との連携活性化(通年) 本校教育活動を地域へ直接周知・理解させる取組(通年) 本校教育活動をHPやマスコミ等メディア活用による発信(通年) 秩父定住自立圏との連携(通年) ボランティア活動の実施 	<ol style="list-style-type: none"> 商品開発、販売実習等を生徒が地域に出かけて実施できたか。講演会等実施できたか。 学校運営協議会で活発な意見交換が行われ、提言を活用できたか。 地域の各機関との連携を活性化することができたか。 地域の協力を得て実施できたか。 HP更新回数やアクセス数、新聞等へ取り上げられる回数が増加したか。 秩父定住自立圏と連携できたか。 お守り配布等、地域行事へ参加することができたか。 			
3	<p>【現状】生徒が主体的に参加する学校行事の工夫や部活動、生徒会活動を奨励し、自立心を育成している。また基本的生活習慣の定着や挨拶の励行により社会性や規範意識を育成している。</p> <p>【課題】コミュニケーション能力の育成を行う。具体的には〇生徒の活躍の機会確保〇職員の立哨指導による挨拶励行と整容指導の継続〇SCや巡回支援員等外部専門家を活用した相談体制の継続維持〇外部専門家による講演会等の実施。</p>	少数でも活気のある学校行事や部活動等を実施することができたか。また、日常的に声掛けや整容指導等、きめ細やかな生徒指導を行うことができたか。	<ol style="list-style-type: none"> 遅刻指導の実施(通年) 生徒による挨拶運動継続(通年) 自転車使用に係る指導の実施(2回) 土砂災害なども想定した総合防災訓練等安全教育の実施(4回) 校内委員会を中心に、SC等関係機関や教職員・保護者との連携による教育相談の実施(通年) 人権学習の実施・発表(1回) 学校生活アンケートの実施(2回) 	<ol style="list-style-type: none"> 遅刻回数(延べ)が減少したか。 挨拶運動が実施できたか。 自転車事故を防止できたか、講習会等での指導を実施したか。 消防署員の指導のもと、火災・地震・土砂災害等の訓練において、的確に判断・行動できたか。 SC等関係機関と連携して活用状況と生徒・保護者の満足度は高まったか。 人権学習を実施・発表できたか。 結果を分析し、改善に結びつけることができたか。 			
4	<p>【現状】地域貢献活動を継続し、郷土を愛し、皆野町をはじめ秩父圏域に定住し活躍する人材を育成している。</p> <p>【課題】個々に応じた職業観の育成と地域で活躍する人材の育成が期待されている。〇一人ひとりの進路希望を実現するための計画的系統的指導の継続〇継続的な企業訪問により、学校との安定した信頼関係を維持〇就職支援員等を積極的に活用〇PTA後援会の協力による面接指導等の継続〇「進路の手引」の見直しと有効活用の徹底。</p>	3年間を見通した系統的・組織的な進路指導を実践し、希望進路の実現をすることができたか。	<ol style="list-style-type: none"> 「進路の手引」改善(4月)と活用(通年) 系統的進路ガイダンスや進路指導の実施(通年) 秩父地域雇用対策協議会と連携しインターンシップ実施(2年生)、企業見学会への参加(3年生) 進路決定に向けた面接練習(試験前)、就職後の働き方指導の実施(通年) 	<ol style="list-style-type: none"> 手引きの内容を改善したか、HR等で活用できた。 進路ガイダンス2回以上の実施、各種職業検査や進路対策指導が実施できたか。 地元事業所と連携しインターンシップの実施、企業見学会へ生徒が参加し理解を深めたか。 3年生がPTAや就職支援員等と面接や指導を受けて進路が決定したか。(3年生試験前1人5回の模擬面接) 			

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	

